



2018年7月12日 第2334回例会
7月第2例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
「インスピレーションになろう」

本年度会長テーマ
「奉仕の理想に向かって、楽しむロータリーに」

◆ 会長時間 ◆

森脇会長



豪雨で亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被災された方々に御見舞い申し上げ、一日も早い復興を心からお祈りいたします。

9日には姉妹クラブであります台南ロータリークラブより御見舞いのメールが届いております。当クラブから礼状をメールにてお送りいたしました。

交換留学生キンバリーさんが、来週帰国いたします。本日の例会の出席が最後となります。鈴木君も無事帰国されました。一年間の留学で成長されたことと思います。交換留学制度は、国際理解を深めるものとして意義があります。ロータリーは平和を希求し、交換留学は、その一助になるものです。

近年、会員の減少に対する危機感があります。日本のロータリークラブの会員は9万人を切りました。ひとつは、ロータリーの存在感や認知度が低下していることです。そして、ロータリアン自身がロータリーを理解していないという痛烈な批判もあります。このことは会員全体で重く受け止めなければなりません。

当クラブは会員増強の目標を次年度の創立50周年までに90名とっています。是非新会員を迎えるにふさわしい魅力ある広島西ロータリークラブにしたいものです。ご理解よろしくお願ひいたします。

● 会務報告 小橋幹事

※新会員候補者の照会を配布しておりますので、よろしくお願いします。

※本日例会において前年度収支決算報告並びに本年度収支予算報告を行います関係上、7月分会費請求は本日の発送となります。また、BOXに事業計画書（これから）を配布しております。中に2017-18年度決算書が挿んでありますので、ご確認ください。

※他クラブ例会臨時変更

7月17日(火) 広島安芸RC 休会

7月23日(月) 広島廿日市RC 休会

※次週例会は会場をうを久に変更して18時より夜間例会並びに会員懇親会を開催いたしますので、お間違えの無いようお願いいたします。

※例会終了後、4階「カメリア」において第1回クラブ協議会を開催いたしますので、理事会役員及び各委員長は出席願います。

★ 第4回中間報告書 (報告期間2018年3月31~2018年7月6日)

国際ロータリー第2710地区

2017-2018年度グローバル補助金奨学生

藤原 周平

1. 学業面での成果

春学期の選択科目として、「教育と紛争のグローバルガバナンス」を選択し、教育と紛争の関係についての理解を深めることができました。教育は、近年開発途上国で頻繁に発生している暴力紛争を助長する場合と抑制する場合があります。例えば、

パキスタンやアフガニスタンでは、旧ソ連時代及び旧ソ連崩壊後に、初等学校教育において、次のような算数の問題が記載されていたことが確認されています：「3200メートル離れた場所にいるソ連兵の頭を、1秒で800メートル進む銃で狙い撃った場合、何秒で銃弾が届き命中しますか？」。これは極端な例であるものの、教育内容が、どのように暴力紛争に対する生徒の考え方へ悪影響を及ぼすかを示しています。一方、例えばスリランカでは、シンハラ人とタミル人の間での暴力紛争が長年続いていましたが、学校教育でお互いの言語を共に学習するなど、より調和することを目指した教育政策が良い結果を生みだしていることで知られています。このような事例を通して、紛争を経験した様々な国々を通して学び、知識を深めることができました。また、教育が暴力紛争の予防や抑制に効果を発揮するか否かは、様々な要因が絡んでいて、文脈次第ですが、少なくとも暴力を助長しないような教育を提供することはできるという視点から教育政策を再考する取り組みも行われています。なお、開発途上国で国家を揺るがす暴力紛争が起こる原因は、当然ながら、教育だけではなく、政治経済社会的な要素が含まれており非常に複雑ですが、教育の役割という観点で暴力紛争について考えることは、今後のキャリアに大きく役立つと思っており、非常に有意義でした。

前回の報告書で書きましたように、修士論文の内容として、ナイジェリア北部のボコハラムという武装過激派組織に焦点を当て、彼らがなぜ現れたのか、彼らの教育に対する考え方・論理はどのようなものか、そして彼らの活動による教育システムへの影響について研究することを決定しました。現在は、上記内容を様々な文献を通して研究し、少しづつ理解を深めています。武装過激派組織の発生は、国内の政治経済社会的な要因が、その組織の発生素地を形成していると文献からは推察されましたが、ナイジェリアのボコハラムの場合も同様で、国内の政治的腐敗、著しい経済格差や失業、基本的な公共社会サービスの欠如などが、特定の地域の人々に激しい怒りを生み出していることが分かりました。現時点では、このような、政治経済社会的な背景に加えて、人々がより過激な宗教的イデオロギーに共感した結果、ナイジェリ

アのボコハラム発生を説明することができるのでないかと考えています。次の最終報告書で、より詳しく説明できると思います。

2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

4月28日にロータリーが主催するチャリティイベントのお手伝いを行なってきました。当日は、小学生・中学生を対象にした作文コンクールの表彰式があり、多くの親御さんがいらっしゃいました。その後、親御さん、地元の方々、ロータリー関係者との昼食会があり、楽しいひと時を過ごしました。私は、来場された方へコーヒーと紅茶等の飲み物の用意、会場の飾りつけや昼食の用意・片付け等を手伝いました。このイベントは、ロータリーが行うチャリティ活動のための資金集めが一つの目的であったようで、多くの資金が寄付されましたことに、ロータリー関係者の方々は喜んでいました。私は、このイベントに参加することができて、良かったです。たくさんのロータリー関係者の方々と久しぶりに会話を楽しむことができましたし、地元の方々も沢山来場され、普段の大学での生活とは、全く違った雰囲気を堪能することができました。良い気分転換になるだけではなく、毎回元気なロータリーの方々から良いエネルギーをいただいているように感じます。

6月10日には、現在お世話になっているロータリークラブで、ドイツ及びポーランドのロータリークラブを招待して、3クラブでの合同会合がありました。まず、それぞれのクラブが、どのような活動を行なっているかについて、発表がありました。その後、合唱団による歌の披露を行い、最後に、綺麗な中庭で昼食をいただいて終えました。私がお世話になっているクラブは、タンザニアのザンジバル島での人々の自立支援プロジェクトについて説明していました。自転車の売買・修理等を含めた様々な事業で生計を立てる現地の活動家と連携しながら、地元の貧しい人々の教育や個人事業支援等を行なっていて、感銘を受けました。昼食会では、帰国前でロータリーの方々と会える最後の機会もありましたので、出来るだけ多くの方々に挨拶をしてまわりました。

1年間の留学経験での楽しい思い出や困難な経験などを共有し、お世話になった方々と、お別れの言葉を交わしました。



作文コンクール表彰式後



グローバル奨学生 3人での写真



お世話になったクリスさんとロットさん



中庭での昼食の様子

3. 直面した課題、問題点等

修士論文の詳細な構成のデザインやそれに必要な文献を集めることが直面している課題です。15000単語という長い論文のため、大きな枠組みで構成を考えることは、あまり難しくはありませんが、その大きな枠組みの中で、どのようなことを詳細に書くかを一つずつ決めて詳細な構成をデザインしていく作業が困難です。様々な文献を読みながら必要な情報を取捨選択していくことにも、

多大な時間がかかります。執筆すると同時に、より詳細な構成を着実に固めることで、よりまとまりのある伝えたいことが明確な論文に仕上がると思いますので、詳細な構成を意識しながら、進めていくことが大切と感じています。

4. 今後の課題、目標

8月末までに修士論文を執筆することが今後の目標になります。出来るだけ良い内容の論文を書くために、7月末までは、ほぼ書き終え、内容を改善するための時間を確保したいと考えています。7月24日からカメルーンの首都ヤウンデで、インターンが始まりますので、仕事をしながら修士論文を書くことになります。8月末までは、あまり仕事に熱中しすぎずに、良いバランスをとりながら、執筆を進めていければと考えています。

5. その他特記事項

2月下旬から3月中旬までの約3週間行われた教職員労働組合による授業ストライキの影響についてです。前回の報告書内で、ストライキに対する学生側からの抗議として、私のコース内の学生約50名で、ストライキについてどのように感じているかを共有し合い、それらを集約、要約したものを教職員、部門、そして大学に提出することを、生徒委員長の役割として進めているという内容を書きました。結果として、我々学生が感じたことをコースメイトと協力して、集約、要約し、コース内の教職員に提出しました。そして、それに関連して、生徒委員長の役割として4月中旬にコース内の教職員と生徒間で話し合いの場を設けました。多くの学生が感じたことを発言し、教職員もどのように感じたのかを率直に話しました。また、話し合いの結果、授業が行われなかつたことや、その間教職員へ学業に関する質問などができるなかったことに対する謝意を教職員側が認め、学生が感じていた不満や失望感が少しは和らいだのではないかと思います。最終的に、教職員から春学期の課題の締切期限を10日延ばすという譲歩を引き出すごとに成功しました。授業料の返金や授業のリスケジュールなどの議論も行われたものの、これらが実施されることは、コース内の教職員が対応できる問題の枠を超えていて、実現するには非常に難しいようでした。我々学生もこれ以上、ストライキについて抗議するだけの活力が残されておらず、コースを超えて、部門、大学の組織レベルでさらにストライキに関する責任追及を続けていくことを止めました。

●委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 隅田委員長

本日(7月12日・木曜日)

会員数 84名 出席者 74名

欠席者 10名 ご来客 1名

ご来賓 0名 ゲスト 2名

計 77名

前々回(6月28日・木曜日)

出席率 100%



※青少年・インタークト委員会 山縣委員長

7月5日 中区袋町「パンピキンズ・テラス」において受入学生キンバリーさん、派遣学生鈴木大勢君、米山奨学生グエンさん、ホストファミリーを含む31名の参加で大雨の中、「青少年交換学生歓送迎会」を行いました。大変和やかな会で、料理も美味しく会話も非常に進んでいたように思います。大変楽しい会で、有料ですが希望者参加なので皆さん奮ってご参加を、といいたいところですが今年度は交換留学生プログラムの実施は派遣、受入ともありません。よって残念ながら、来年この時期の開催はありません。

続いて翌日6日、大雨特別警報の出るなか修大附属鈴峯女子高校へ挨拶に行って参りました。松田理事、宍戸地域環境委員長、中山副委員長、私の4名です。新任挨拶及びメンバーの紹介、スケジュールの確認が主な目的です。

青少年交換受入学生 Kimberly Cristal

CRUZ Olais さん帰国挨拶及び記念品贈呈



一年間、広島西ロータリークラブの皆さんには大変お世話になりましたがありがとうございました。

日本に来た最初のころは、言葉が分かりませんでしたが、少し分かるようになりました。

4軒のホストファミリーの皆さんには特にお世話になりました。上手に日本語が話せず、また、私は恥ずかしい気持ちで、感謝の気持ちを伝えられませんでした。今日は感謝の気持ちでクッキーを焼いてきました。召し上がってください。

あと一週間で日本を離れるのはとても悲しいです。なぎさ高校の先生、友だち、ホストファミリー、そして広島西ロータリーの皆さんありがとうございました。

~~~~~

### 青少年交換派遣学生 鈴木 大勢 君 帰国報告



昨年8月に、サンフランシスコのサンノゼにロータリーの交換留学生として、10ヶ月間過ごし、6月18日に帰国しました。

アメリカでは、大規模な山火事や高校生の銃乱射事件など起こりましたが、無事留学生活を送ることが出来ました。期待と不安をかかえながら日本を離れましたが、アメリカでは、言葉のカベ、食べ物、習慣の違いにとまどはばかりでした。また、日本人を見るのは、数ヶ月に一度ぐらいでした。刺激的でもあり、不安ばかりでしたが、ホストファミリーをはじめ、たくさんの人助けられ、ようやくなれた頃には、帰国となりました。

また、ロータリー交換留学生として、色々なプログラムが用意されており、キャンプやスキーなど通じて多くの国の留学生と交流をはかりました。異文化や他国籍の人達とふれあうことで日本でいる時とは全く違う感覚で人に接する様になりました。言葉や感覚、精神面において自分なりに成長出来たと思います。この経験を生かし、ロータリー交換留学生として今後、貢献していきたいと思っています。

この様な機会を与えてくださった西ロータリーの皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

会報雑誌・広報委員会 荒川委員長  
ロータリーの友誌紹介  
今年度会報綴り用ファイルを受付で配布しますので、希望者はお受け取りください。

ご結婚記念日おめでとうございます。

(2名)

隅田君 鮫島君

## ●会員記念日

### 祝 連続出席100% (15名)

|              |              |
|--------------|--------------|
| 諫訪(昭登)君(46年) | 尾形君(33年)     |
| 森脇君(27年)     | 斎藤君(22年)     |
| 児玉君(20年)     | 諫訪(昭浩)君(14年) |
| 荒川君(10年)     | 上野(純)君(10年)  |
| 大植君(7年)      | 吉田(大)君(5年)   |
| 西原君(3年)      | 南條君(3年)      |
| 隅田君(3年)      | 山縣君(3年)      |
| 宍戸君(3年)      |              |

### 連続出席記念品贈呈



20年  
児玉 裕志君  
(サファイア入14Kバッヂ)



10年  
荒川 慎吾君



10年  
上野 純一君



5年  
吉田 大蔵君

### ●スマイルボックス SAA 松岡(輝)委員長

#### 松岡(輝)君 (自主申告・金一封)

以前、皆様にご紹介しました、弊社商品の「あなご醤油」がこの度特許庁への商標登録申請が無事認可されました。今後も広島県の食文化に微力ながら貢献して参りたいと思います。

#### 森信君 (自主申告・トリプル)

この度の西日本豪雨災害で被害を受けられた方々には心からお見舞い申し上げます。私どもでは、矢野地区で引渡し前の建物が被災し、その対応に追われる一方、施工中の各現場への資材搬入に大幅な遅れが出ており、工程組み換え等影響が出始めております。なんとか切り抜けてまいりたいと思っています。

個人または法人等で義援金の寄付をご検討されておられましたら、「コミュニティー未来創造基金ひろしま」または「西日本豪雨災害支援基金」とホームページで検索いただくか、私宛お尋ねいただければ幸いです。

#### 金本君、木村君

7月6日は「公認会計士法」が制定されたことを記念し定められた「公認会計士の日」だそうです。お二人の今後益々のご活躍を祈念し、スマイルボックスへご招待します。

#### 上野(純)君

7月7日付け中国新聞からです。世界遺産の島、宮島を対岸に望む宮浜温泉に、この度新しい宿泊施設「IBUKU (いぶく)」が開業することになったそうです。宮浜温泉管理組合長の上野純一君は「放置されていた建物が一新され、温泉街が明るくなる」と開業を歓迎している、とあります。

#### 瀬崎君

7月12日付け広島経済レポートにイベント電車「TRAIN ROUGE (トランルージュ)」の記事が出ておりました。「普段は移動手段である市電の中でアルコールを楽しむという非日常空間」が好評で、今年で3年目を迎えたとのことです。広島電鉄と瀬崎君の益々のご発展を祈念いたします。

## ● スマンボックス

○ 浜田君

先週の7月5日、前年度青少年インタークト委員長 木村君が企画されました「青少年交換受け入れ学生の送別会」に前年度副会長として出席回答しておきながら、全く失念しておりました。関係の皆さまに多大なる御迷惑お掛けし、誠に申し訳ございませんでした。



### 前年度決算報告

前年度会計委員会  
金本委員長



### 監査報告

前年度監査人  
木村監査人



### 本年度予算報告

会計委員会  
福田委員長



### RIテーマについて

ロータリー情報委員会  
新原委員長

2018-19年度RI会長は、中南米の島国バハマーストナッソーRC会員のバリー・ラシン氏です。RIテーマは「インスピレーションになろう

(Be the inspiration)」です。ナッソーは世界的に有名なリゾートアイランドなのでロゴもそれをイメージしているように見えます。

ラシン氏はRI会長メッセージ（ロータリーの友7月号p.7参照）の冒頭に昨年RI理事会で採択さ

れた「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」という新しいビジョンを引用し、最も大切なことは、よりよい世界を築くだけでなく、私たちがより良い人間になるために、ロータリーは自分自身に変化を生み出す行動をする。と述べ、さらに、よりよい世界とその世界を築くための私たちの役割のビジョンこそ、私たちのロータリー活動を支えるものであり、ロータリーの会員になった理由であり、奉仕活動を行う理由であり、今年度テーマ「インスピレーションになろう」を選んだ理由だと述べています。

また、ロータリーの友7月号p.21「インスピレーションになろう」の中で、一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「インスピレーション」となる必要があるのです。と結論づけています。

インスピレーションという単語の解釈が重要なと思います。辞書を引くと、閃き、思いつき、宗教用語として神の啓示等とともに、鼓舞、激励、鼓舞する人等の意味が出てきます。「ロータリーの友」p.7~21を読んだ上での私の解釈ですが、インスピレーションとは 変革の担い手、旗振り役、鼓舞激励する者等と読み替えてみればわかりやすいのではないかでしょうか。ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの目的を達成するために、職場や地域社会、あるいはクラブ内等で前向きな変革を鼓舞激励する人、旗振り役になる人になりましょう、という思いがこもったテーマであると考えます。

会員の皆様にもロータリーの友7月号p.7~21を特に熟読いただきますようお願いいたします、RIテーマの説明とさせていただきます。

## ● 卓話予告

| 日時        | テ　ー　マ                           |
|-----------|---------------------------------|
| 8 / 2 (木) | 「仮想通貨のお話」<br>広島銀行 総合企画部 石原 和幸 氏 |

例会日・木曜日 12:30~13:30  
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
会長 森脇 宗彦  
幹事 小橋 敏幸

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp  
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索